

科目名	公衆衛生学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
公衆衛生の概念と、人々の生活に密着している地域保健について学習する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
健康の概念、疾病予防、環境保健、ライフステージから見た保健を学習することにより、公衆衛生活動を理解する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
公衆衛生は人々の集団としての健康を守り、また増進していくことであり、それに関わる社会、環境の影響を見逃すことはできない。社会や環境の変化と人々の健康がどのように関連しているのか、新たな健康課題は何か、ライフステージにおける健康課題について身近な問題として理解する。								
回数	講義内容							
1	公衆衛生の概念:公衆衛生活動と考え方							
2	ヘルスプロモーション							
3	ヘルスプロモーション							
4	健康の指標							
5	感染症とその予防							
6	感染症とその予防							
7	食品保健と栄養							
8	これからの公衆衛生							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
わかりやすい公衆衛生学 第4版	清水忠彦・南波正宗	ヌーヴェルヒロカワ

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

定期試験にて評価する。